今、変わる！
流山市議会

流山市議会だより

第161号
平成29年11月15日

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1−1−1　議会事務局内
電話04-7150-6099（直通）FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyamagikai.jp

市議会だよりは２月、５月、８月、11月の年４回発行です。　ホームページアドレス http://www.nagareyamagikai.jp/

写真コンクール入賞作品、伊島　彩乃さん（13歳）撮影の「勝負」　※年齢は応募時

撮影の背景　陸上の大会で頑張っている仲間の姿を撮りました。

平成28年度決算を認定
議員研修会開催のお知らせ

第３回定例会概要

８月31日の開会日には、市長から「平成29年度流山市一般会計補正予算（第２号）」を含む合計25件の議案が提出され、提案理由の説明が行われました。また、そのほか３件の報告がありました。

（要旨８面）

市政に関する一般質問は、９月５日から８日までの４日間にわたり、22人の議員が登壇し行われました。**（要旨３～６面）**

９月８日の一般質問終了後には、市長から「教育委員会委員の任命について」が追加提出され、提案理由の説明の後、採決が行われました。その後、各常任委員会・決算審査特別委員会に議案が付託されました。

各常任委員会は、９月11日から14日および29日の５日間、決算審査特別委員会は９月19日から21日および25日の４日間にわたり審査しました。

（要旨２・７面）

10月２日の最終日には、市長から「平成29年度流山市一般会計補正予算（第３号）」が追加提出され、提案理由説明に続き、総務委員会に付託され、審査されました。その後、各常任委員会の委員長報告、質疑、討論、採決が行われました。

また、市長から３件の「人権擁護委員の推薦について」が追加提出され、提案理由の説明の後、質疑、討論、採決が行われました。議員からは、合計９件の発議が提出され、提案理由の説明の後、質疑、討論、採決が行われました。

（要旨７・８面）

議員研修会を開催します
＝どなたでもご参加できます＝

市議会では、議員の政策形成能力の向上を図るため「議員研修会」を開催します。
開催日：平成30年１月12日（金）
場　所：市役所第１庁舎４階議場

午前の部
時　間：10時～12時
講　師：日本ユニバーサルマナー協会理事
　　岸田　ひろ実　氏
テーマ：「バリアバリューから社会を変える」
　　みんなが求めるユニバーサルマナー

午後の部
時　間：14時～16時
講　師：日本大学理工学部まちづくり工学科教授
　　流山市景観アドバイザー
　　岡田　智秀　氏
テーマ：「流山市の誇りと元気を育む景観まちづくり」

参加費：無料
定　員：午前の部・午後の部各先着20名
【申し込み方法】議会事務局へ電話で申し込みください。
TEL　04−7150−6099（直通）

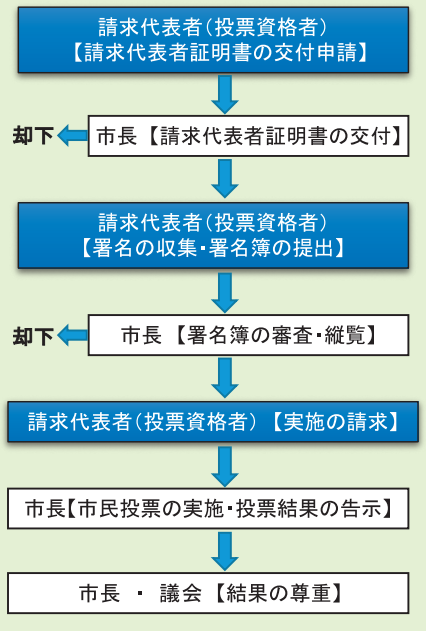
クローズアップ

「流山市市民投票条例」可決！

今定例会で、「流山市市民投票条例」が可決されました。この条例は、平成21年に制定された、「流山市自治基本条例」の第17条で「市長は、流山市が直面する将来に係る重要課題について、市民から市民投票の実施の請求があったときは、これを実施しなければなりません。」とあり、同条の第３項で「市民投票の請求及び実施については、別に条例で定めます。」とされております。ので、今定例会で上程されたものです。議会全体としても平成28年度の予算審査特別委員会にて議会全体の合意事項として、「市民投票条例策定においては議会との意見、調整が十分に実施できる策定スケジュールを早急に作成・提示されたい」と指摘要望を行っておりました。付託された総務委員会では、流山市自治基本条例が制定されてから、今回の上程までに８年間と時間がかかった理由やそれにより、この間に市民投票に値する議案があったのに使用できなかったのではないか、また、制定後どのように市民に周知していくのかなどの質疑が行われました。市としては、先進市の調査研究に時間がかかった旨、制定後には施行規則を作って、必要な書類などを決めていき、広報等で市民に周知するという答弁がありました。

実際には、次の図のような手順で市を二分するような重要な課題について、投票有資格者の６分の１の署名により二者択一の住民投票を市民は申請することができるようになりました。

市民参加が進む自治体、流山市としてさらに一歩前進です。



平成28年度 一般会計決算
13項目の「議会共通指摘要望」を提出

平成28年度一般会計歳入歳出決算認定については、8人で構成する決算審査特別委員会を9月8日に設置し、19日から21日および25日の4日間にわたり審査されました。

同特別委員会で審査された一般会計決算認定議案は、定例会最終日（10月2日）の本会議において賛成多数をもって認定されました。

本会議における一般会計決算認定議案に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

【決算審査特別委員会】

委員長	乾 紳一郎
副委員長	西川 誠之
委員	近藤 美保
〃	西尾 段
〃	野村 誠
〃	坂巻 儀一
〃	中村 彰男
〃	中川 弘

（上）決算審査特別委員会の様子

（下）決算審査特別委員会現場視察の様子

各会派等の意見表明

反対 日本共産党

第1の理由は、政治に求められる貧困と格差の拡大に歯止めをかけ、市民の暮らしを守る市政運営になっていないことです。全国の市町村では市税減収により、やむなく暮らしや福祉の削減が進んでいます。いっぽう流山市は、市税が前年比4・5％も増えています。福祉や暮らしを守る財源がないのではありません。ところが、平成28年度は、障害者への福祉手当、難病患者への見舞金削減など、弱者への重箱の隅をつつくような削減を実施しました。

第2の理由は、「母になるなら、流山市。」に惹かれ、流山市に引っ越してきた市民の願いにこたえきれない、子育ての深刻な実態があることです。

第3の理由は、県下一少ない職員数では、増大する市民要求に応えられる市役所の役割を果たせないからです。

第4の理由は、つくばエクスプレス沿線土地区画整理と駅前市有地活用を舞台に、開発優先の市政が引き続き推進されていることです。

引き続き、市政を厳しくチェックしていきます。

賛成 流政会

流山市は全国まれに見る人口増を実現しましたが、平成28年度は子どもの急増状況が明らかになり、新設小学校建設の方針が決定するなど大きな軌道修正を決断した年でした。流政会はこの決断を評価しながらも、きめ細やかな子育て環境は改善すべき点があるとし、地域子育て支援センターの適正な施設配置、日常生活の場となる学童クラブの環境充実、学校の大規模化に伴う対策を早急に研究することを要望しました。

防災面では、地域防災計画の改正を職員自らが行ったことを高く評価しました。加えて、人口増に対応した減災・被災対策の強化と予算増額措置を要望しました。

街づくりでは、立地適正化計画の策定が行われましたが、他自治体と比較して住宅や生活サービス施設の配置状況や公共交通が充実していること、流山市は縮退を前提としていないこと、今後の少子高齢化社会においても現都市構造を維持する基本姿勢を確認しました。流政会は、公共交通の利便性の偏在に留意することを要望しました。

賛成 自由民主党

人口の順調な伸びに支えられ、歳入歳出とも対前年で増加しており、適正であると認めます。賛成にあたり、数点指摘要望致します。

①流山おおたかの森駅前市有地有効活用計画事業では、十分な数の駐車場が長期にわたり確実に確保できる方策を検討されたい。②下花輪駒木線建設、新川南流山線立体交差建設、県立市野谷の森公園施設新設の各県事業が遅延しています。当市も負担する事業でもあり、早期完成に向け県との協議を進められたい。③教師の負担軽減に向け校務支援システムが導入されたことは評価しますが、部活指導などの教師の負担は大きくその軽減に向けた取り組みを実践されたい。④医療費抑制のため市が行う各種健診の確実な受診とその後をフォローする方策を検討されたい。⑤後手後手になっている学童クラブの施設整備を計画的に進められたい。⑥耐震診断及び木造住宅耐震改修補助事業は、より利用しやすい制度に改め積極的にＰＲを行い、地震に強いまちづくりを進められたい。

議会共通指摘要望（全13項目）

平成28年度一般会計決算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。

政策	共通指摘要望
都市基盤の整備	（1）流山市も費用を負担することとなっている県立市野谷の森公園施設新設事業に早期に着手し、一日も早い完成を目指すよう県と協議をされたい。
	（2）名都借跨線橋道路拡幅改良事業及び東小学校前通学路道路拡幅整備事業においては、残りの用地取得を迅速に行い、早期完成を実現されたい。
生活環境の整備	（1）クリーンセンターごみ焼却炉の運転管理については、日常点検をより一層強化し、長期的な炉の故障・停止にならないようバランス良く稼働させ、過度の負荷のない運転管理を図られたい。
	（2）耐震診断及び木造住宅耐震改修補助事業に対する国の基準が変更されることから、より利用しやすい制度とするとともに積極的にＰＲを行い、地震に強いまちづくりを進められたい。
	（3）消防本部の移転を確実に進められたい。
教育・文化の充実向上	（1）国内最大級となる大規模校が複数・同時誕生するのに備え、学校の現場任せにせず、十分な学校運営に関する知見の収集を教育委員会でも行い現場への情報提供を行われたい。
	（2）公立学校における部活指導などに伴う教師の負担軽減に向けた取り組みを実践されたい。
市民福祉の充実	（1）地域子育て支援センター運営にあたっては、効率的な運営や適正な施設配置の検証を早急に実施されたい。
	（2）将来の保育需要の予測を的確に行い、学童クラブの計画的な整備を行われたい。整備にあたっては、子どもの生活の場としての環境を重視するとともに、大規模化に伴い混雑が想定される子ども達の動線について十分検討し、児童の安全性に配慮する施設設備を行われたい。
	（3）不要な医療費増大抑制のため、流山市が実施している各種健診の確実な受診とその後のフォローを実施する方策を検討されたい。
	（4）妊娠から出産・育児まで切れ目のない子育て支援とするため、母子保健の充実を図られたい。また、小児医療の拡充、小児救急医療の体制維持に力を尽くされたい。
産業の振興	（1）ＬＥＤ化した商店街街路灯の電気代の全額補助、街路灯のＬＥＤ化に３分の２を補助している事業は、来年度も継続されたい。
行政の充実	（1）広域連携による事業における収支状況が確認できるような説明を決算(予算）審査において提示されたい。

※決算の詳細は広報ながれやま11月21日号をご覧ください。

賛成　市民クラブ

平成28年度は、小中併設校、体育館建設といったビッグプロジェクトが終了した中で、引き続き財政規模が５００億円を上回りました。急増する人口に対して、保育園などの整備が必要になったことと、高齢化率上昇で、経常的経費増大があることです。それに対し、財政調整積立基金を堅持したことなど、好材料もあります。また、市債の発行は、発行自体を次世代への先行投資と考えた場合、長く住み続ける仕組み作りが重要です。さもないと、将来的に人口が市外へ流出し続け、投資した分を回収できないことが懸念されます。マーケティングをみると、住民誘致と交流人口増が必要です。特に、欧米の個人客はゆっくり滞在するため、流山おおたかの森駅前市有地に建設中のホテルの稼働率向上も期待されます。

最後に2点要望します。①高齢者が元気で長生きできるまちづくりをすること。②小中学生が大人になったときに、自分の子どもと一緒に住みたいと思えるまちづくりをすること。

賛成　公明党

平成28年度の決算は予算規模が縮小し、国庫補助金や地方交付税が減額となったものの、つくばエクスプレス沿線開発に伴う納税義務者のさらなる増加、個人市民税は、前年度比４・０％増、市税全体では約11億円の増額となりました。子育て環境の充実に向けた取り組みが、人口増、黒字決算に繋がったものと評価します。市税徴収率では、新たな滞納者を出さないという姿勢で、収納の向上に努められ、県内二位となったことは評価します。平成28年の決算を踏まえ、３点要望します。①ごみ焼却施設については、日常点検をより一層強化し、バランスよく稼働させ、過度の負荷のない運転管理を図ること。②防犯カメラ設置目的については、危険な通学路の安全・見守りの観点からも検討し、さらなる拡充を図ること。③「学ぶ子にこたえる、流山市。」になるためにも、入学準備貸付金事業については、さらなる周知を図るとともに、利用者の視点に立った制度の改善等を図ること。以上３点を要望し賛成とします。

会派に所属しない議員

菅野浩考議員　昨年に続き黒字決算で終了しています。歳入は市税全体で約11億円、率にして４・５％増、財政調整積立基金の取り崩しはせず45億円の残高を確保し、健全化法に定める実質公債費比率及び将来負担比率では、前年度決算より好転したことを高く評価します。歳出では待機児童解消並びに、学校施設設備に児童生徒の安心安全な教育環境の整備を図るため、重要な事業であると理解し、今後も歳入確保に努め、「市政のやりくり」に尽力される事を強く要望し賛成とします。

阿部治正議員　以下の理由で反対します。①生活保護、国民健康保険、介護保険が高齢者の二極化に対応出来てない。②第２のセーフティネットとされる生活困窮者自立支援の取組が弱い。③女性と子どもの貧困問題が軽視されている。④社会問題の複雑化に対応するマンパワー確保が定員適正化計画で損なわれメンタルの病を生んでいる。安上がり委託はゴミ収集などで不適切な行為を生み労働条件改善を阻んでいる。⑤東京五輪の大テーマのダイバーシティに無自覚な市政となっている。

市政に関する一般質問

平成29年第３回定例会の一般質問には、22人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。

各議員が行った質問のうち、１問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、**問**部分については、各議員の草稿によるものです。

おいしくなった水道水のPRについて

自由民主党　中村　彰男

問　**北千葉広域水道企業団では、高度浄水処理を行ってから約２年経過しているが、市民の大半はまだ高度浄水処理とは何か分かっていないのではないか。**

水質が変わり、おいしくなっている事をもっとPRするべきではないか。

答　**上下水道事業管理者**　平成28年６月に開催した上下水道展で高度浄水に関するアンケートを行った結果、認知度が低いという状況を確認しました。そこで、「広報ながれやま」に高度浄水処理に関する記事や、ペットボトルに関する記事を掲載しました。５００ミリリットルのペットボトルは、上下水道展をはじめ、施設見学会などで配布を行い、また、防災訓練でも約千本配布しました。市民からは、水道水がおいしくなったとのご意見を多数いただいています。今後も市民まつりや各種イベント、各課が主催する会議など、引き続き高度浄水でおいしくなった水道水のＰＲ活動を進めていきたいと考えます。

Cーの制定を進めてはどうか

流政会　野田　宏規

問　**流山市第２期シティセールスプランを見ても、流山のブランドを体系化しようとしていることがわかります。そこで、団体の特性や独自性を統一させて社会に発信する、Cー（コーポレート・アイデンティティ）の制定を進めてはどうですか。**

答　**総合政策部長**　東京都板橋区では平成29年４月１日に板橋区版ＣＩに関する要綱を策定し、効果的な活動と情報発信の統一を図っています。市として、ロゴと扱われる図柄やシンボルマークで、市のブランディングの形成につながるとは考えておらず、新たに策定する予定はありません。広く認知されている都心から一番近い森のまちに関して、目にする情報の統一やそのコンテンツの使い方のルールの規定など、板橋区等を参考に取り扱い基準の策定を進めていきたいと考えています。

次期の総合計画が平成32年度からスタートする前までには、ＣＩの要綱取り扱い用基準を決めていきたいと考えています。

つくばエクスプレス高架下の活用について

流政会　大塚　洋一

問　**高架下を壁面緑化なども多く取り入れた、溢れるような緑の歩行空間や公園や各種施設を整備し、そして、夜には「切り絵行灯」のようなデザインや色を付けた明かりで、帰宅者を「飲食店」や「物販店」に誘導できないかと考えるがどうか。**

答　**都市整備部長**　高架を支える橋脚は、概ね10メートルピッチで設置され、活用には制限があります。高架下の活用は、区画整理完了後まちの成熟とともに収益性が見込まれるようになった時期に、首都圏新都市鉄道にて検討されていくと考えます。首都圏新都市鉄道による構想がない中で、具体的な提案についてお答えできませんが、つくばエクスプレス沿線区画整理事業では、計画的に歩行空間や公園などの公共施設を配置するとともに、流山おおたかの森駅高架下の商業施設計画や駅前センター地区における低層階への店舗誘導により、回遊性のあるにぎわいが図られていくと考えます。

議会全体の合意事項は最優先に

自由民主党　加藤　啓子

問　**予算審査で議会全体の合意事項としている、北部公民館、東部公民館のエレベーター設置は最優先で予算を取るべきと思うがどうか。また、福祉会館の備品や駐車場台数は福祉の名にふさわしくばらつきのないよう整備すべきと思うがどうか。**

答　**生涯学習部長**　北部公民館および東部公民館のエレベーター設置については、議会全体の要望事項ですので、平成30年度に完成する個別施設計画に基づき設置したいと考えます。

健康福祉部長　福祉会館は単独施設と児童センター等との複合施設があり、和室、会議室等の面積も異なることから、備品の種類、数量は施設の環境に合わせることを原則としています。今後も必要な備品は、指定管理者と情報を共有し、配置するよう努めたいと考えます。

なお、福祉会館の駐車場は、各施設の敷地面積を最大限に生かし、台数の確保に努めていますが、全福祉会館の利用実態に合わせて今後は民間駐車場の賃貸借などを中心に検討します。

ようこそ流山市議会へ

８月16日から11月15日までの間に、議会改革等について行政視察にお越しいただいた皆さまです。

・宮崎県宮崎市議会
・宮崎県日向市議会
・熊本県熊本市議会
・兵庫県西宮市議会
・東京都６区市合同公明党女性議員
・埼玉県草加市議会
・埼玉県三郷市議会
・千葉県鴨川市議会

マンモス校対策に向けた体制強化について

自由民主党　中川　弘

問 **人口急増に伴い文部科学省が過大規模校とする31教室を大きく超える小中学校がこの数年のうちに複数誕生する。学習指導要領の改訂時期でもあり学校運営に関するこれらの調査研究を行うために学校教育部の体制を強化すべきではないか。**

答 **学校教育部長**　教育総務課は、新設校の開校準備および既存校の整備等に対応するための組織強化として施設整備室の課への昇格および職員の増員、学校教育課は、新市街地地区の児童生徒数の増加および字変更などに対応するため学務係の職員の増員、指導課も新学習指導要領および教育相談件数の増加などに対応するため職員の増員を要望しています。

全体で5名増員を要望しており、今後関係部局との協議、調整を図っていきたいと考えています。

市長　前向きに調整をしたいと思いますが、県の指導課指導主事2人は県の教育委員会になりますので、県との調整を教育委員会にしてもらうということになります。

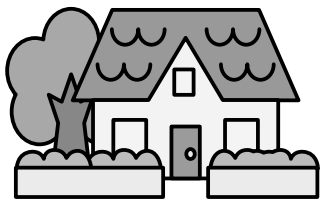
障がい者共同生活援助施設の進捗について

流政会　青野　直

問 **流山市は障がいを持った子の親亡き後の不安解消に取り組んできた。**

今回、障がい者サービス事業所が整備するグループホーム（共同生活援助施設）2棟定員20名で計画されている。保護者の期待も非常に大きい。計画概要と進捗を問う。

答 **健康福祉部長**　平成29年7月に千葉県から法人に対し、国庫補助が不採択になった旨の内示があり理由を確認したところ、平成29年度当初予算の配分は、相模原市の事件を受け、施設の安全対策に要する改修を優先したため、知的障害者グループホームの新規整備は、各都道府県において多くても2件程度の採択にとどまったが、例年国は補正予算を計上し、本年度も計上されると想定しています。地域障害者グループホーム新規整備の予算化も必要と考えており、流山市の整備も採択の対象として検討したい旨の内容でした。市としては、今後も国の補正予算を視野に入れ、厚生労働省や千葉県へ国庫補助金の採択を強く要請します。



上下水道事業の健全経営について

市民クラブ　森田　洋一

問 **給水申込金増加による営業外収益は増加傾向にある。当初経営戦略案と実体の乖離はどうなっているか。下水道事業の独立採算制を経営戦略上どう考えるか。流域下水道事業の負担金値上げをしないように千葉県に働きかけるべきではないか。**

答 **上下水道事業管理者**　給水申込納付金は、水道事業経営戦略で平成29年度がピークとなっていますが、ここ数年想定以上に増加しているのが現状です。毎年水道事業経営戦略による数値と実績との比較を検証し、経営戦略を策定した平成27年度から4年経過する平成31年度に経営戦略の修正作業を行い、結果を公表することとなっています。

下水道事業の独立採算制は、上下水道局の組織統合を生かして、早期の独立採算制の実現を目指したいと考えています。

負担金を値上げしないよう市からも要望を行ったところです。流域下水道維持管理負担金の値上げが生じる場合は、構成団体である市に対し負担金値上げに対応するための協議期間を設けるようあわせて要望しました。

食品ロス削減について

公明党　野村　誠

問 **名古屋市では「もったいない」を「ありがとう」に、を合言葉にフードドライブの拠点を開設し、集まった食料品を生活困窮者や福祉施設などに無料で届けるサービスを行っている。本市も支援する取り組みをすべきと考えるがどうか。**

答 **健康福祉部長**　市では、「くらしサポートセンターユーネット」と「流山市社会福祉協議会」の2団体がフードバンク、フードドライブ事業を実施しています。ユーネットは、任意団体「フードバンクちば」が千葉県内90団体の協賛を得て実施しているフードドライブにも加盟し、食品の受け取り窓口およびフードバンク事業を実施しています。流山市社会福祉協議会は、随時、米などの食品の寄附を受け付け、生活困窮者へ提供するとともに、ユーネットへも提供し、相互の連携を図っています。活動内容に関しては、「広報ながれやま」や「福祉だより」へ掲載し、市民、事業者へ周知を図っていきたいと考えています。

過大規模校ではなく学校の適正配置を

日本共産党　乾　紳一郎

問 **平成3年の「教育施設配置基本方針」は新線沿線地区に5小3中を新設するとしていたが1小1中にとどまった経過を問う。平成35年度にはTX沿線地域はマンモス校ベルト地帯（7校）となるが、市長はこれを望ましいと考えているのか。**

答 **教育長**　平成9年7月、学校の配置等のあり方を再度精査し、その結果、現有施設の効率的利用と財政面を考慮し、小学校2校、中学校1校を基本とする施設整備方針へ見直しを図り、その後平成21年、現在の後期基本計画の策定時に行った人口推計と時代の潮流であった長寿人口減少社会の到来に合わせ、1小1中としたところです。

市長　大きさについて望ましい、望ましくないというようなことを伺ったことはありません。ただ、お子さんによっては小さな学校が望ましいということで、市内の学区外の学校を希望されている方は存じています。

火葬施設の拡充を

日本共産党　植田　和子

問 **火葬施設が混雑で一週間も待たされるという市民の声があるが、この事態をどう考えるか。丁重に弔う、人間の尊厳を守る問題として考えるべきではないのか。他自治体と共同して公営斎場運営費の支援を国に求めるべきと考えるがどうか。**

答 **総合政策部長**　東葛中部地区総合開発事務組合では、今年度火葬炉を3基増設する工事を予定しています。既存の旧炉と合わせ12基の稼働となることで、1日当たりの火葬可能件数は現在の18件から24件に拡大をします。ただし、既存の旧炉について、今後火葬時間が短縮できる新型の炉へ入れかえを予定していることから1日24件の火葬が可能となるのは平成34年度と見込んでいます。

火葬施設の整備や運営費の補助制度の創設については、県や全国レベルでの要望活動が必要であると認識しています。

学区編成は教員、保護者、地域と十分な協議を

日本共産党　徳増　記代子

問 **学区について、①児童生徒の友人関係や地域との関わりを考慮し、教員や保護者、地域と十分協議し決定すべきではないか。②新設小学校は学級規模や設置場所から、通学距離が長くなるのではないか、また安全対策はどうなっているのか。**

答 **教育長**　流山おおたかの森駅から建設候補地まで歩いてみましたが、私は十分通える範囲であると認識しています。

学区編成については、構成市と協議をして検討したいと思います。

電子母子手帳の早期導入を！

公明党　戸辺　滋

問 **核家族化等で子育てに不安を感じる親への支援策として、また母子の健康維持・増進を図るものとして、電子母子手帳は有効であると考えます。ICTの普及や子育て世帯の急増に鑑みると、早急に導入すべきと考えますが、見解を伺います。**

答 **健康福祉部長**　市としては、現段階において導入するという見解には至っていませんが、近隣で既にアプリを導入している柏市を視察するなど、より具体的な情報を収集していきたいと考えています。

また、10月から開始す

議長の主な公務

8月25日　江戸川新橋建設促進協議会総会（三郷市）
10月12日　千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）
11月2日　北千葉広域水道企業団運営協議会（松戸市）
11月13日・14日　東葛都市議会連絡協議会県外視察（新潟県長岡市・新潟県見附市）

用語解説　フードドライブ…各家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要とする人々にフードバンクなどを通じて寄附する活動。

一般質問通告一覧

1	中村　彰男	1	本市の水道事業の将来予測と危機管理体制について
		2	本市の環境政策におけるごみ問題及び放射能対策について
		3	行政組織改編の効果について
2	野田　宏規	1	流山市のコンセプトである「都心から一番近い森のまち」のイメージ維持について
		2	流山市のブランドイメージについて
3	大塚　洋一	1	つくばエクスプレス高架下の活用について
4	加藤　啓子	1	平成32年度からスタートする総合計画策定における市長のビジョンについて
		2	市内公共施設への市民が利用しやすい整備の実現について
		3	流山市における特産品の開発について
5	中川　弘	1	マンモス校誕生に備えた教育委員会の体制強化について
6	青野　直	1	流山市総合計画後期基本計画における教育・文化の取り組み姿勢について
		2	第４期流山市障害福祉計画の推進策について
		3	南部地域の行政課題（赤城福祉会館・赤城児童センター・千葉県教職員住宅）について
7	森田　洋一	1	上下水道事業の健全な経営に向けた現状の取り組みについて問う
8	野村　誠	1	本市の防災対策について
		2	食品ロス削減について
9	乾　紳一郎	1	教育行政について
		2	国民健康保険について
		3	介護保険について
10	植田　和子	1	学童保育について
		2	新川耕地における大規模物流センター建設について
		3	火葬施設がある公営斎場について
11	徳増記代子	1	平和施策について
		2	教育行政について
		3	児童扶養手当について
12	戸辺　滋	1	母子健康手帳のサービス拡充について
		2	来庁者にやさしい、市役所庁舎内のあり方について
13	小田桐　仙	1	教育行政について
		2	産業振興について
		3	流山おおたかの森駅前市有地活用について
14	根本　守	1	自然災害の防災対策について市長に問う
		2	一級河川今上落の集中豪雨に対する排水整備対策について
15	西川　誠之	1	災害発生時の避難所運営における「トイレ対策」について
16	近藤　美保	1	窓口・庶務業務の効率化について
		2	対話型人工知能による問い合わせサービス導入について
		3	小中学生の荷物の重量化に伴う健康影響と対策について
		4	幼稚園の延長保育料補助について
17	西尾　段	1	流山市総合運動公園野球場の観覧席建設について
		2	将来的に予想される、市内小中学校の統廃合を見据えた計画について
18	楠山　栄子	1	ＮＨＫラジオ体操の普及による健康増進策について
		2	市内屋内体育館の管理点検の現状について
		3	防災行政無線の充実について
		4	向小金地域での行政サービスのあり方について
19	藤井　俊行	1	骨髄バンクドナー登録の推進及び移植に関する支援策について
		2	市民ニーズに対応した学童クラブの支援について
		3	本市の消防職員の採用時に於ける色覚検査の有無について
20	笠原　久恵	1	2025年問題に向けて介護現場における人材確保について
		2	高齢者ふれあいの家や学童クラブなどの多世代交流促進について
		3	名都借跨線橋道路拡幅改良事業及び東小学校前通学路道路拡幅整備事業の工事中、児童生徒の登下校やその他通行人の安全対策について
21	石原　修治	1	ボール遊びのできる公園の実現について
		2	初石駅東口開設について
22	阿部　治正	1	ＬＧＢＴなどの性的少数者を排除しない地域づくりについて
		2	2017年に成立した改正介護保険法に対する流山市の考え及び対応について

市長ではなく、子ども優先の学校規模を

日本共産党　小田桐　仙

問　**学校規模について、①おおたかの森小と新設小学校は、３～４校分に相当するのではないか。②１校あたり「最大48学級」との決定は行政の都合によるものか。また学校統廃合の根拠とならないか。③子ども中心の規模設定が必要ではないか。**

答　**学校教育部長**　学校規模や立地条件などの違いはあっても、常に子どもを中心とした視点に立って、子どもたちの学びの充実のためにいかに教育の質を確保するかを最優先に考えた上で、今後の課題に取り組んでいきたいと思います。

教育長　考え方によってはやむを得ないと捉えられるかもしれませんが、おおたかの森地区の児童数から推計したことですので、そのルールを全ての学校に当てはめて、統廃合していくというような考えは持っていません。

学校教育部長　本来は３つから４つの小学校が必要となるところが新設校１校ということについて、将来的なこと、現状を踏まえた上での決定だと考えています。

一級河川今上落の集中豪雨に対する排水整備対策について

自由民主党　根本　守

問　**和田堀都市下水路の調整池を無くした事によって、今上落にストレートに和田堀都市下水路からの水が流れてくる。今上落に流れる水量は最大どれくらいあるのか。**

答　**土木部長**　千葉県では（仮称）三郷流山橋建設に伴い、和田堀都市下水路の改修が発生することから、一級河川今上落流域の全域について水理解析を行いました。その結果、現状の樋管より毎秒約０・６立方メートルの放流量の増加が認められました。したがって、新橋建設に伴う和田堀樋管の改修後には、若干放流量が増えるとともに、三輪野山幹線との合流点で発生していた不正流が解消されると考えています。

今上落（加６丁目地先）

たかがトイレ、されどトイレが災害時一番重要

市民クラブ　西川　誠之

問　**災害発生時の直接死とは別の避難先でのトイレ事情等の使い難さで排泄を我慢し「エコノミー症候群」等と同様の症状で体調を崩し死に至る「関連死」のゼロを目指し仮設トイレの調達等を含めた市の対応及び啓発活動について問う。**

答　**市民生活部長**　トイレ対策の周知は、平常時の備えとして、広報、ホームページ、出前講座などを通じ、携帯トイレや簡易トイレの備蓄をするよう奨励しています。

仮設トイレの災害応援協定の関係ですが、一般的には災害の内容、被害の状況、規模によりますので、細目などは定めていないところが協定書の状況として今現在あるところです。

ただ、ご指摘のとおり、確実な確保という部分も考えなければいけないと思いますので、今後検討したいと思います。

小中学生の荷物が重すぎる！是非対策を！

流政会　近藤　美保

問　**保護者や子ども達から学校に持っていく荷物が重すぎるという訴えを頂いています。子どもの体重に対する割合が大きい場合が散見され健康への悪影響が懸念されるため、市として対策を講じるべきだと思いますが、いかがですか。**

答　**教育長**　各学校では、児童生徒の登下校の荷物を減らすことができるよう、毎日持ち帰る必要がない学習用具については、教室内などに置いておける場所を設けています。しかし、小学校では図工や習字などの授業があるときに学習用具が多くなる場合や、学期末に配布物などを集中して持ち帰る場合があるなどが見受けられます。また、中学校では、通学用のかばんに加えて、部活動の道具や水筒など、荷物が多くなってしまう日があることは認識しています。

そこで、教育委員会としては、ご指摘いただいた内容をなるべく早く校長会で協議し、登下校時の配慮事項としてまとめ、周知徹底できるよう指導したいと思います。

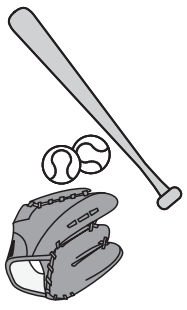
野球場観覧席の寄附がさらに集まる取り組みを

市民クラブ　西尾　段

問　**静岡県掛川市では野球場の寄附総額のうち約２割を募金箱で集めた。本市でも同様の取り組みをしてはどうか。また、まだまだこの寄附が市民に知られていないため、「広報ながれやま」や市ホームページなどでさらなるＰＲをしてはどうか。**

答　**生涯学習部長**　募金箱設置の内容については、総合運動公園野球場に観覧席を設置するという一つの具体的な目標があるので、設置する場所も考慮して、施設の指定管理者と募金箱の設置場所など改めて協議したいと思います。

ＰＲについては、継続的な形がやはり効果を結んでいくと思います。「広報ながれやま」ならびに市のホームページはもとより、スポーツ施設でのＰＲ、そういったところにチラシなどを置ければと考えています。今後とも引き続きＰＲに努めていきたいと思います。



体育館の管理点検について

市民クラブ　楠山　栄子

問 **キッコーマンアリーナで数々の大きな大会が行われている。日常点検、定期点検はどうか。大会の準備・最中の段階で部品の不都合が見つかった場合の想定はされているのか。マニュアルに明記され、責任の所在を明らかにされているのか。**

答 **生涯学習部長**　修理、保全は、傷がついた場合には応急処置を行い、専門業者に依頼をして修理を行っています。点検の実施記録は、その都度指定管理者から報告があり双方で共有しています。

今後は必要に応じて任意の点検、スポーツ用具に特化した点検も考えていく必要があると思っています。なお、具体的なマニュアルはありません。

指定管理の協定書等に、市からの貸与物品については指定管理者において安全に、また利用者が使う上で支障ないよう管理をする形になっています。

利用者の安全性を担保する上でどのような形で点検、管理をしていけばいいのか、指定管理者と十分協議し、ご指摘のような形で進んでいければと思っています。

学童クラブ支援員の処遇改善を強く求める！

市民クラブ　藤井　俊行

問 **市民ニーズに対応していくためには支援員の確保が重要である。そこで、指定管理者においても難しいと言われている支援員の確保策として、処遇改善や採用強化などが必要と考えるが、当局の支援体制について伺う。**

答 **学校教育部長**　支援員の処遇改善について、今年度から追加された国の補助メニュー、放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を活用し、支援員の経験年数や研修実績などに応じて、月額約1万円から3万円の賃金改善を図る経費を負担するため、本定例会に補正予算を計上しています。

また、保育の担い手となる人材を育成し、学童クラブへの就労につなげるため、昨年度から地域の子育て支援活動に関心のある方を対象に、子育て支援員研修放課後児童コースを実施し、研修の修了者には学童クラブ指定管理者との間で交流会を実施するなどの支援を行っています。支援員および補助員の募集案内を今後は「広報ながれやま」への掲載も検討したいと考えています。

2025年問題に向けて介護現場の人材確保

流政会　笠原　久恵

問 **第6期高齢者支援計画から初めて「介護人材に関する施策」の項目を設け特に推進していますが、次期計画へどのようにつなげていくのか、2025年問題に向けてさらに強化すべきと思いますが、現在の状況や考えをお聞きします。**

答 **健康福祉部長**　第7期の計画は、現在策定作業中です。この中で、介護職の人材確保の方策、これは継続したいと考えています。新しい事業等について、介護保険制度の仕組みは財源に限りがありますので、国、県の動向を注視して、計画に間に合う段階であれば計画に盛り込んでいき、また計画年度中に新たな施策が国等から示されれば、3年間あるわけですが、計画期間中にも実施を考えていきたいと思っています。

初石駅東口開設について

流政会　石原　修治

問 **長きにわたり切望されている初石駅東口の開設は、現在、庁内関係部署では施設整備に関してどのような協議・検討段階にあるのか。また、基本設計の前に東武鉄道株式会社との協議が必要だが、いつごろと考えているのかを問う。**

答 **市長**　各意見交換会等で頂戴したご意見を踏まえ、今年度は整備の方針を定めることから、庁内関係部署へ意見照会および協議を行うとともに、あわせて交通規制等について流山警察署との協議を行ってきました。これまでのご意見、協議結果を集約し、市の方針としてスイカ、パスモによる入出場が可能な改札を整備することとしました。

初石駅

今後、東武鉄道株式会社と改札の整備について協議を重ね、年明けには地元の皆さまにご報告します。

LGBTなど性的少数者を排除しない流山を

阿部　治正

問 **LGBTなど性的少数者を排除しない社会づくりを教育その他の分野でどう進めてきたか。オリンピック・パラリンピックでLGBT先進国オランダチームの誘致計画があるが、競技施設や市民意識など受け入れ体制づくりをどう進めるのか。**

答 **総合政策部長**　男女共同参画次期プランには、性的少数者への理解を広げる施策を盛り込んでいく方向で検討を進めます。教育分野では、文部科学省からの通知やパンフレットを各学校に配布し、教職員の研修を進めています。また、児童生徒の指導については、お互いの違いを認め合うことができるように指導を進めています。

生涯学習部長　流山市民総合体育館をLGBTの競技者にも不快感なく使用できる施設とするために、競技者がどのような対応を求めるのかは一人一人異なり、事前に決めることが難しいため、オランダチームの希望を丁寧に聞き取った上で、可能な対応を実施していきたいと考えています。

議員提出の可決議案

◆北朝鮮による核ならびに弾道ミサイルの開発に抗議する決議について◆

核実験や相次ぐ弾道ミサイルの発射は、これまでの国連安保理決議および日朝平壌宣言に違反するとともに、六者会合共同声明の趣旨に反するものです。流山市議会は流山市民を代表して、北朝鮮に対し今回の核実験に対し重ねて厳重に抗議するとともに、核兵器と弾道ミサイルの開発を中止し、直ちに無条件で交渉のテーブルに着くよう強く求めます。

◆別居・離婚後の親子の断絶を防止するための法整備を求める意見書について◆

離婚に伴う子供の親権や監護の権利を優位に進めるため、一方の親の同意を得ずに子供を連れて別居し、我が子との交流が一方的に断たれる事例が多発しています。よって、国においては、夫婦の離婚又は別居後においても、子供と両親が定期的に交流できる環境および両親が協力して子供の養育に関わることのできる環境を実現するため、必要な法整備を速やかに行うよう強く要望します。

◆ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書について◆

政府においては、ギャンブル等依存症対策基本法の制定などの抜本的強化に取り組むことを強く求めます。①ギャンブル等依存症対策の企画立案、規制と監視を一元的に行う独立組織の設置を検討すること。②3月の論点整理などを踏まえ、具体的な依存症対策を早急に検討すること。③依存症対策の法制化を進める中で、さらに対策の深化を図ること。

◆国で全国一律の子ども医療費助成制度の創設を求める意見書について◆

子育て世帯の経済的負担の軽減などを目的として、現在全ての都道府県において、市町村が実施する子ども医療費助成事業に対する助成を実施しています。しかし、自治体間、都道府県間において格差が生じているため、国の責任において、全ての子どもを対象とする全国一律の子ども医療費助成制度の創設を求めます。

◆米朝の軍事的衝突を回避するためにあらゆる努力を求める意見書について◆

世界と地域の平和と安定のため、軍事衝突を絶対に回避するためのあらゆる努力が求められています。そこで、政府に対し、以下のことを強く求めます。①北朝鮮には、国連安保理決議を遵守させるとともに、これ以上の軍事的な挑発行為を中止することを重ねて強く求めること。②米朝の直接対話を実現し、核・ミサイル問題を含め平和的・外交的に解決するための努力を図ること。

◆自己破産を増加させている銀行カードローンの規制強化を求める意見書について◆

銀行カードローンは、金利が14％台と高くなっており、自己破産を生みだす要因の一つにもなっています。そこで、自己破産の増加を食い止めるために、銀行カードローンについても総量規制の対象とするなど、法改正も視野に入れた規制強化策を検討することを求めます。

◆生産現場に立脚した農業振興を求める意見書について◆

政府の掲げる食料自給率目標の達成のため、以下のことを要望します。①食料自給率向上を農業政策における重要な柱に位置付けること。②都市農業を支える小規模家族農家も含め、すべての農業者が安心して再生産できる環境を整えること。③農業政策の立案については、生産現場に立脚した農業振興に関する政策を練り上げること。

委員会の審査状況

総務委員会
議案9件を審査

◆「工事請負契約の変更について（新スポーツフィールド整備工事）」の主な意見◆

①本件は、当初のスポーツフィールドの目的に変更があって、工事の仕様も変わっています。これが、関係者や地元地域、さらに議会にも十分な説明があって、コンセンサスが得られた上でのことなら、別に問題視するものではありません。

今回の場合については、それら抜きで、執行部担当部内で突然計画変更が行われました。

さらに、市長の執行伺の1カ月以上前に、受託業者に変更を指示している問題など、行政のあり方、内部的な手続きのあり方としても、非常に大きな問題があると考えています。

二番目には、契約変更前に工事が行われている問題です。これは、地方自治法にも反するものであり、見過ごすわけにはいかないと思います。

それから、最初から最後まで、議会への説明がされていないということは、議会軽視であり、私は議会人として執行部は一体何を考えているのかと言いたいと思います。

さらに、約4千万円の追加費用は、市民の立場から見れば金額が大きく、その使途がきちんと説明されておらず、手続きもきちんとされていない状況で使われることになれば、市民の怒りを買うことになり、税金の使い方に問題があると思います。

最後に、行政のトップである市長の責任は重大です。議会には説明しましたが、市民に対してもきちんと説明、謝罪すべきであり、けじめをつけることを強く求めます。

②現在は様々なスポーツを楽しめるようになりましたが、練習場の予約がなかなかとれない、場所が不足しているという声を沢山伺ってきました。今回の変更に伴い、多目的グラウンドが一面増えることについて喜ばしいと思う市民が多いことを考えると、変更に伴う議会への説明不足については本当に残念だったと言わざるを得ません。

しかし、設計変更による影響については、市は十二分にシミュレーションを行っており、機能低下はないとかなり厳しく調査して確認しています。

また、長年にわたる市民要望の声に寄り添った今回の変更は必要なものと受け止めます。しかしながら、今後は議会への説明を十分に行っていただくこと、二度とこのようなことがないよう執行管理の徹底を行っていただくことを指摘します。

③本案は、平成28年第4回定例会において上程された新スポーツフィールド整備工事について、スポーツ団体等からの要望を取り入れ、当初計画の調整池の形状をより多くの市民が、各種スポーツに活用できるよう変更するもので、工事請負契約の内容自体については、スポーツを通した青少年の健全育成に大きく寄与するものであり、より市民サービスの向上につながることから、賛成とします。しかし、変更時点で、議会への報告がなかったことについては、かつてない不手際であり、議会軽視とのそしりはまぬがれません。二度とこのようなことが起きないよう再発防止対策を庁内でしっかり協議いただくことを強く要望します。

教育福祉委員会
議案6件を審査

◆「流山市教育、文化及びスポーツ施設整備等基金条例の一部を改正する条例の制定について」の主な意見◆

①教育、文化及びスポーツの施設整備等に充てられる基金で、利用の実態は幅を持たせた運用になっています。市は基金条例をすぐに変えることは難しいと見解を述べていましたが、3ヶ月後の改正は行政運営上大きな問題です。答弁どおり、基金のサブタイトルや事業名をあてることで対応でき、条例改正は必要ありません。

市民要望が高まっている中で、順序を決めて、計画的に限られた予算内で市民満足度を上げる努力をされている最中、また、ハード面での基金対象事業が多く残っている中、基金の取り崩しの対象を緩和し、曖昧にすることは断じてならないと指摘します。

②当議案は、流山市教育、文化及びスポーツ施設整備等基金の設置の目的の改正及びこれに伴う所要の改正を行うためのものであると理解しています。寄附金の増加を図れるうえ、高い汎用性を持って基金を活用できる適切な改正であると考えます。

◆「平成28年度流山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」の主な意見◆

①新規で介護人材確保支援事業、地域住民への介護の理解促進事業、介護ロボット等導入支援事業を行っていること、また、介護予防・日常生活支援サービス事業や一般介護予防事業、在宅医療連携拠点事業等に力を入れていることを評価します。

②平成28年度は第6期介護保険事業計画3年中の2年目で、基金を積み立てるのは重要と考えられます。本市は他自治体と比べて介護予防に力を入れ、元気な高齢者を増やす努力をしています。2025年問題解決に向けた地域包括ケアシステムの構築を目指した予算執行と考えます。

③制度改正や介護報酬の改正などで、現場は大変だと考えますが、制度改正そのものが保険あって介護なしという方向に進んでおり、被保険者並びに国民の介護の社会化という願いには大きく離れている感があります。

市民経済委員会
議案3件を審査

◆「平成28年度流山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」の主な意見◆

①本市においても事業運営は厳しい状況であると認識する一方、被保険者の医療機関受診数は年々減少しており、市が行ってきた健康増進の推進、啓発が被保険者の健康意識向上に繋がっている点は評価します。特定健診受診率向上、レセプト点検強化、ジェネリック医薬品の利用促進、脳ドック健診の啓発周知にさらに努めるよう要望します。

②反対理由は保険料の値上げです。減免制度活用の増加は評価しますが、差し押さえ件数は300件を超え、平成28年度は、経済的理由からの受診抑制により、手遅れ死亡事故が3件も起き、誰もが安心して医療受診できるはずの制度の機能が十分に発揮されていません。保険料を引き下げること、資格証明書の発行はやめること、強権的差し押さえはしないこと、生活困窮世帯は社会福祉課につなげること、広域化に伴う保険料値上げは中止すること、以上5点を指摘します。

③制度全体で財政難であることを理解しました。延滞金の回収活動を真剣に実施すること、市の様々な健康施策を市民に啓発すること、医療費などの支出を減らすこと、脳ドック、人間ドックなどの受診およびジェネリック医薬品への転換についての市民への啓発活動が必要と考えます。

④厳しい状況にありながら前年度に引き続き黒字決算であり、特に県内でも高い収納率であることは高く評価する一方、加入者は引き続き減少傾向にあり、制度を維持していくには今後も予断を許さない状況であると感じます。

引き続き千葉県内一番である高い収納率を堅持すること、特定健康診査の受診率向上などを求めた国民健康保険データヘルス計画の着実な実行、ジェネリック医薬品の利用促進を拡大し、医療費抑制に努めること、以上2点要望します。

都市建設委員会
議案7件を審査

◆「平成28年度流山市水道事業会計決算認定について」の主な意見◆

①水道使用量が減っている背景、水道事業への企業会計の導入は、流山市の水道事業の責任の外で起きている問題です。こうした環境の中でも、上下水道局の真摯な取り組みが行われてきたことは評価します。しかし、特別給水契約制度等は、上下水道局の自主的な判断と責任によって選択されました。それが最適の方策と言えるかどうかは、検証の余地が大きいです。流山おおたかの森駅前へのホテル誘致に便宜を与えることも動機になっているとの説明もありましたが、オリンピック開催以降の経営の見通しが明確ではないです。

②少ない職員で利益をあげたこと。本来の目的である公共の福祉に努めたこと。つくばエクスプレス沿線開発の進捗に合わせて水道事業が順調に進められていること。緊急時の給水所となる小学校の受水槽に給水栓を積極的に設置されていること。渇水対策、地震対策、災害に強い水道事業の構築に積極的に努めたこと。

以上5点を評価します。

③給水申し込み納付金が高い水準の利益を見せる一方、使用料収入の減につながっているが、必要な事業を実施しながら、黒字決算となっていること。給水普及率が98・74％と非常に高い水準をみせていること。企業債残高が減少傾向にあること。民間への各種業務委託において、効率的な運営をする業者選択に努めていること。大口利用者の水道離れ対策も配慮し、積極的な経営戦略に努めていること。以上5点を評価します。

市民への安全な水の安定供給を推進し、信頼される水道事業を構築して頂くことを要望します。

④12年間は赤字にならないという経営戦略のもと運営されているが、2030年度以降、会計の赤字転落や会計破綻を否定できない状況です。その中で、つくばエクスプレス沿線での大規模開発に大きな投資をし続けており、現時点では大きなリスクが表面化していませんが、将来的に会計を大きくゆり動かす事態を抱えており、抜本的見直しが欠かせないです。

平成29年流山市議会第３回定例会　議員別表決結果一覧

出席議員全員が賛成した議案、請願・陳情、発議　（全会一致）

議案	第50号	平成29年度流山市一般会計補正予算（第２号）	第52号	流山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第53号	流山市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	第54号	字の区域及び名称の変更について（木地区）
	第55号	千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	第58号	平成29年度流山市介護保険特別会計補正予算（第１号）
	第59号	平成29年度流山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	第63号	流山市文化芸術振興条例の一部を改正する条例の制定について
	第64号	平成29年度流山市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	第66号	流山市廃棄物処理施設建設基金条例の一部を改正する条例の制定について
	第67号	平成29年度流山市土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	第68号	平成29年度流山市水道事業会計補正予算（第１号）
	第69号	平成29年度流山市下水道事業会計補正予算（第１号）	第73号	流山市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第76号	平成29年度流山市一般会計補正予算（第３号）		
発議	第19号	国で全国一律の子ども医療費助成制度の創設を求める意見書について		

賛否が分かれた議案、請願・陳情、発議

			審議結果	流政会								自由民主党					市民クラブ					公明党			日本共産党				菅野浩考	阿部治正	秋間高義
				野田宏規	近藤美保	大塚洋一	坂巻儀一	石原修治	笠原久恵	森亮二	青野直	加藤啓子	中村彰男	中川弘	海老原功一	根本守	西尾段	森田洋一	楠山栄子	西川誠之	藤井俊行	戸辺滋	野村誠	斉藤真理	植田和子	徳増記代子	小田桐仙	乾紳一郎			
議案	第51号	流山市市民投票条例の制定について	○可決	○								○	－	－	－	－	○					○			○				○	○	／
	第56号	工事請負契約の締結について（流山市立おおたかの森小学校校舎増築工事（建築工事））	○可決	○								○	注1	○	○	○	○					○			○				○	○	／
	第57号	工事請負契約の変更について（新スポーツフィールド整備工事）	○可決	○								－	注1	－	○	○	○					○			×				○	×	／
	第60号	平成28年度流山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○認定	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第61号	平成28年度流山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○認定	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第62号	流山市教育、文化及びスポーツ施設整備等基金条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第65号	平成28年度流山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○認定	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第70号	平成28年度流山市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○認定	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第71号	平成28年度流山市水道事業会計決算認定について	○認定	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第72号	平成28年度流山市下水道事業会計決算認定について	○認定	○								○				欠	○					○			×				○	○	／
	第74号	平成28年度流山市一般会計歳入歳出決算認定について	○認定	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第75号	教育委員会委員の任命について	○同意	○								－					○					○			－				○	○	／
	第77号	人権擁護委員の推薦について	○同意	○								○				欠	○					○			－				○	○	／
	第78号	人権擁護委員の推薦について	○同意	○								○				欠	○					○			－				○	○	／
	第79号	人権擁護委員の推薦について	○同意	○								○				欠	○					○			－				○	○	／
発議	第16号	北朝鮮による核並びに弾道ミサイルの開発に抗議する決議について	○可決	○								○				欠	○					○			○				○	×	／
	第17号	別居・離婚後の親子の断絶を防止するための法整備を求める意見書について	○可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○				欠	○					○			×				○	×	／
	第18号	ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書について	○可決	○								○				欠	○					○			×				○	×	／
	第20号	米朝の軍事的衝突を回避するためにあらゆる努力を求める意見書について	○可決	○								×				欠	○					○			○				○	×	／
	第21号	テロ等準備罪（共謀罪）を新設した改正組織犯罪処罰法の成立に抗議し、廃止を求める意見書について	×否決	×								×				欠	○	○	○	×	○	×			○				×	○	／
	第22号	自己破産を増加させている銀行カードローンの規制強化を求める意見書について	○可決	○								×				欠	○					○			○				○	○	／
	第23号	生産現場に立脚した農業振興を求める意見書について	○可決	○								○	×	×	×	欠	○					○			○				○	○	／
	第24号	オスプレイの国内飛行訓練等の自粛を求める意見書について	×否決	×								×				欠	○					×			○				×	○	／
				野田	近藤	大塚	坂巻	石原	笠原	森	青野	加藤	中村	中川	海老原	根本	西尾	森田	楠山	西川	藤井	戸辺	野村	斉藤	植田	徳増	小田桐	乾	菅野	阿部	秋間

※表の見方　○：賛成　×：反対　欠：欠席　－：棄権
※秋間高義議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。
※議長の所属会派は公明党です。
※可決した意見書は、関係省庁に提出しました。
※その他　◎欠席した議員がいた場合
→出席議員全員が一致したものは「全会一致（上表）」
→賛否が分かれたものは「賛否が分かれた（下表）」、表示は［欠］
◎退席した議員がいた場合
→審議結果にかかわらず全て「賛否が分かれた（下表）」、表示は［－］

（注１）議案第56号および第57号において中村議員は、地方自治法第117条の規定により除斥（退席）となっています。

次回定例会のお知らせ

平成29年第４回定例会は、次の会期日程（案）のとおり開催される予定です。

平成29年第４回定例会会期日程（案）

11月30日（木）	本会議　午後１時開議
12月５日（火）	本会議（一般質問）午前10時開議
６日（水）	〃
７日（木）	〃
８日（金）	〃
11日（月）	総務常任委員会
12日（火）	教育福祉常任委員会
13日（水）	市民経済常任委員会
14日（木）	都市建設常任委員会
20日（水）	本会議　午後１時開議

議会の窓

「市議会だより」の一面には、前号から第16回写真コンクールの入賞作品が掲載されています。今回のコンクールでは、市内在住・在学の小学生から18歳までの方を対象に作品を募集し、84作品の中から４点が入賞されました。入賞作品の素晴らしさはもちろんのこと、入賞されなかった作品も流山市の魅力を再認識させられるものや、家族や友人との深い絆を感じさせるものなど力作ばかりでした。応募された皆さまには心より御礼を申し上げますと共に、今後も美しい街の情景や人々の笑顔をカメラに収めて頂けるよう、議会としても更に魅力溢れる街づくりに努めて参りたいと思います。

戸辺　滋

あとがき

議会広報広聴特別委員会では、より読みやすい「市議会だより」作りに取り組んでいます。皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

郵送先　〒270-0192　流山市平和台1-1-1
TEL　7150-6099　FAX　7150-2863
e-mail：gikai@city.nagareyama.chiba.jp

議会広報広聴特別委員会

委員長　加藤　啓子
副委員長　戸辺　滋
委員　石原　修治
委員　菅野　浩考
委員　植田　和子
委員　阿部　治正
委員　楠山　栄子

R70　古紙70%再生紙、植物油インク使用